

CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カルビー京都工場FGR棟工事	階数	地上3F
建設地	京都府綾部市	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	120人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2017年7月20日
敷地面積	76,899 m ²	作成者	叶 貴司
建築面積	5,860 m ²	確認日	2017年7月20日
延床面積	9,330 m ²	確認者	櫻井 淳



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%

② 建築物の取組み: 81%

③ 上記+②以外の: 81%

④ 上記+: 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 食品工場として、周辺環境に与える影響をできる限り少なくするとともに、環境負荷を低減した建物を計画する		特になし
Q1 室内環境 居室部分に対し、断熱材を施工することによる熱負荷の抑制を図る。	Q2 サービス性能 維持管理に配慮し、耐久性の高い材料や設備機器の選定を行い、長寿命化を図る。また、メンテナンス性の良い工法を採用する。	Q3 室外環境(敷地内) 60%以上の緑化率、生物多様性への配慮と環境負荷低減に貢献。既存緑地の保存に配慮した計画とする。
LR1 エネルギー LED照明器具による消費電力を削減	LR2 資源・マテリアル 解体時に躯体と仕上の分別が容易な計画とする。	LR3 敷地外環境 駐車場に十分なスペースを確保し、交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される